



広報

# かじき

第118号

41. 12. 20 発行

発行所 加治木町役場

発行者 曾木隆輝

担当者 向江巧

編集者 中元邦夫

印刷所 吉屋印刷

全ご家庭に、もれなく配布



## 郷土入りした鶴ヶ嶺関

九州場所で11勝4敗の好成績をあげた鶴ヶ嶺関は、鹿児島場所のため郷土入りしましたが、町後援会では12月2日、加治木高校校庭で鶴ヶ嶺関の歓迎会を開きました。校庭には関取りの後輩である同校生徒や町内のファンが大ぜいつめかけ鶴ヶ嶺関の健闘を祝しました。

土俵生活20年、幕内最古参、37歳で最年長、全国のファンをわかす、もろ差し、寄りの得意のわざは技能派ナンバーワン。初土俵以来の出場回数1,303回、同勝数664回、技能賞10回、

殊勲賞敢闘賞各2回。この3つは、すもう一筋にかけて努力した「小さな大力士」の記録であります。

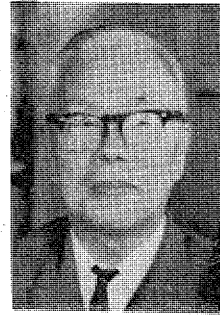
あいさつの中で「髪もうすくなりましたが、まだこれからも、すもうを取りたい」と堅い決意を話しておりました。来場所も元気で、すばやい差し身の妙技を見せてくれることを期待して、心からの声援をおくりたいものです。

オープンカーでパレードする鶴ヶ嶺関

(消防庁舎前で撮影)

# 町長就任にあたって

町長 曾木隆輝



さる十二月五日の選挙で、有権者各位の真剣なご支持をいただき次期町長に推してくださいましたことは、まことに感激にたえませぬ。引き続き三度町長に就任させていただいたわけで、感謝と同時に責任の重大さを痛切に感ぜずにはいられません。選挙運動中おさわがせして恐縮でした。

わたくしは過去四年間、少しでも町のため町民のためにとの一念から、どうして道を開くか苦しみ悩みつつも、日夜精魂をかたむけて、働かしていただきました。わたくしなりの経験や見解の不備から他の方と、物の考え方に相違が出たり、力が及ばず実績をあげ得なかったことなど、謙虚に、また深く反省もしましたが、町民の皆さまの尽きないご協力で、常に感謝いたして、毎日を片時も休むことなく働き、愉快に過ごし得ましたことは、有り難いことでした。このたびの立候補に際し、あち

こちで、いろいろご批判もあり、また、よりよい動きもあることははつきり、うかがうこともできました。貴重な反省点であり、今後の人生への参考となりますが、わたくしとしては、一片の私心も邪心もなく、一視同仁、当を得た批判は有り難く受けつつも、ただ町を思つての、わたくしの過去及び将来の施政に対する信念を卒直にひ歴して、有権者の皆さまに信を問ひ、認否は運とする決意で立ち上がったのです。わたくしの至誠をくんでくださった皆さまに厚くお礼申し上げます。同時にご批判にも十分耳を傾ける所存です。

わたくしは、旧弊にとらわれることなく、町が今日おかれている立場から、一歩でも前進させ、町のためになるような施策を、全く生まれ変わった気持ちで、ぐんぐん新しい方向へと、おし進めて行つて、町民のしあわせを高め、福利増進をはかり町政の発展を具体化し、他の市町村との生存競争に決して負けないようにしますとの強い念願を皆さまに訴えたつもりです。

平和ムードに酔うな、右顧左べんするな、思うぞんぶんやれ、失敗をおそれるな、など激励をいた

だき、またご要望もありました。民主政治は、むづかしいと思ひます。いいと思つて思ひ切つてやると、独断とのしられ、事を構えまいとすれば弱腰と笑われ、始めから計画を公開する事は失敗するし、おさえてやれば、いらぬ疑いを受けたり秘密主義と申されます。ここの加減が容易ではないようです。

わたくしは、立ち会い演説で言明しましたとおり、今日、本町には多くのむづかしい問題があります。百年の計をあやまらぬよう、最善を尽くす所存です。南九州中規模都市として発展すべき運命にある本町は、歴史的、地理的な必然性をよく、は握して、しかも国の経済伸張の中に、落伍しないよう、文化都市の建設、広い意味の社会福祉の増進のため教育、土木農業、商業などの発展を期し、国県の事業を推し進めながら、財政

## たばこは町内の店で

昭和四十年の一月から十二月まで、日本専売公社から納められた、たばこ消費税は千一萬三千三百四十円です。当町の大きな財源です。是非町内の店ではたばこを買いましょう。

たばこ消費税は、各市町で消費された、たばこの数量に応じて、日本専売公社から各市町村へ納付される税金のことです。

を一段と確立して、住みよい明るい町づくりを、一身をなげうつ決意であります。のしられても、そしられても、デマをとばされても、天知る地知るといつた気持ちでかかります。

有権者の皆さまのあたたかいご協力、ご支援に心から感謝の意を表しますとともに、わたくしどもが今からやつてまいります諸政策に、建設的なご協力、さては純粋なご批判をたまわりまして、われわれの郷土が一段とよりよい所になりますよう、全町民のかたがたのお力添えを願います。

わたくしは、不肖な存在であることはよく承知しています。それでも自らにむち打つて、力と知識のある限りを傾け、皆さまの負託にお答えするよう今後の町政にまい進しますことをお誓い申し上げます。町長就任のごあいさつといたします。

## 中原茂議員が死去

中原 茂議員(七一歳)は四月から、加治木療養所に入院療養中のところ、さる十二月六日午前六時十四分死去されました。

氏は、昭和二十二年四月町会議員に初当選、以来一九年間議員活動を続け、建設委員長、建設経済委員長を歴任、昭和三十八年五月副議長となり、ことしの六月まで療養中でありました。

## 日ごろの訓練を発揮

### 自衛消防班操法競技大会

氏の、町行政に貢献した功績はまことに大きいものがあります。ここに氏の多年にわたる功績をしのんで、つつしんでごめい福をお祈りします。

自衛消防班の消防操法競技大会が、十一月二十日午後一時から、飯屋馬場で行なわれました。

この大会は、今回が第五回目にあたり男子十五チーム、女子九チームが出場(役場自衛消防班三チーム特別出場)して、日ごろの訓練を大いに発揮して、優勝旗を獲得したチームは次のとおりです。

- 男子の部 小陣Aチーム
- 女子の部 新道チーム
- 総合の部 端山チーム



技を競う女子チーム

### 加 治 木 町 民 憲 章

- 一、わたしたち加治木町民は心を豊かにして平和な町をつくります。
- 一、わたしたち加治木町民はきまりを守って明るい町をつくります。
- 一、わたしたち加治木町民は力をあわせて清潔な町をつくります。
- 一、わたしたち加治木町民は元気で働き豊かな町をつくります。
- 一、わたしたち加治木町民は楽しい家庭をつくり町のよい子を育てます。

さきに、わたしたちは町民憲章を制定し、町民としての生活目標を定めました。  
 新年を迎えるにあたって、この町民憲章の精神を生かし、町民一人一人がつよい自覚の上に立って、公共心を高め、生活の合理化に努力し、青少年の健全な育成のために全町民の力をあわせ、明るい豊かな加治木の町をつくりましょう。

### 年 末 年 始 の 生 活 目 標

- 忘年会、新年会の自しゆく（午後9時のサイレンで終る）
- 助け合い運動への協力。
- 門松は枝松（門松カード）を使用
- 年始あいさつは戸別訪問をやめ合同年始会へ。
- 記帳生活の実行（家計簿・経営簿）
- 贈答品は虚礼を廃して真心のこもつたものに。
- 正月料理は心のこもった温かい手料理で
- 買物は町内商店で。

#### 青少年の 保護育成

- すべてのおとなが姿勢を正して町のよい子を育てましょう。
- 子ども中心で楽しい正月を送りましょう。
- 反省や計画を家族ぜんぶで話し合ひましょう。
- よい本やよいテレビを選んで見せましょう。
- 規則正しい生活をさせましょう（夜間外出、アルバイト禁止）
- おとなも子どもも外出する時は必ず行く先をはっきりと。

- 防 防 犯 火**
- 外出ねる前には戸締りを
  - 自動車、自転車にもカギを
  - 安全でももう一度火の点検。
  - 子どもの火遊びにも注意。

- 交 通**
- きそくを守って正しい歩行を。
  - のんだら乗るな・飲むなら乗るな。
  - 運転者には飲ませぬ。飲ませたら乗せぬ。
  - 三悪追放に協力。
- （飲酒、スピード、無免許）

### 正 月 の 行 事

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>七 草 祝</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校区、部落合同式へ全員参加。</li> <li>○ 合同式へは学童服（普通服）で</li> <li>○ おとなの祝でなく子ども中心に</li> </ul> | <p><b>成 人 式</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1月15日午前9時30分<br/>加中体育館で……</li> <li>○ 式にはできるだけ質素な服装で</li> <li>○ 昭和21.1.16～昭和22.1.15に生まれた人が該当します。</li> </ul> |
|--|---|

# 町長選挙おわる

## 低調だった投票率

任期満了にともなう町長選挙は十二月五日、町内八か所の投票所で行なわれました。

これから四年間、町政をあずかる町の代表者を選ぶとあって、投票所の入口に列をつくらせて入場を待たされた。



この1票に……第7投票所

待つ風景も見られました。

しかし投票率は七三・七四パーセント(前回七七・九三パーセント)で、あいにくの雨にたたられたか、案外低い投票率となったようです。国民の義務とし与えられた選挙権を無駄(棄権)にするこのないよう今後、お互いに自覚したいものです。

即日開票の結果、曾木隆輝氏(六二歳)が五、五〇四票で五選目を当選、第十四代町長として就任しました。

- 有権者総数 一一、六八七人
- 投票総数 八、四一九票
- 有効投票数 八、三〇三票
- 曾木隆輝 五、五〇四票
- 緒方明男 二、七九九票

## 給水栓・給水管に保温を

ことしは、例年に比べて寒気がきびしいと予想されます。水道使用の皆様は、次のことを特に、ご注意願います。

△屋外の露出管、栓柱などは、わら、布ぎれなど適当な材料で防寒被覆すること。

△寒気がきびしい夜は、屋内でも冷える所は水栓を布ぎれ類で、防寒するか、ごく少量の水を放流しておくこと。

△もし、凍結したときは、自然融

## 消防出ぞめ式

一月十一日(水)午前十時から加治木高校グラウンドで。

東京、新大阪間を三時間で走る東海道新幹線のように、線路と道路の交差が立体化している場合はよいが、その他の線区ではいたるところに踏切があつて、通行者の不注意や過失などで一瞬のうちに尊い人命を失うことがあります。

## 踏切対策費に三億一千万円

国鉄では、踏切事故をなくするために踏切の統合、整備、立体交差、警報機の設置などに積極的な手を打っており、鹿児島鉄道管理局でも昭和四十年には踏切対策費に三億一千万円を

## 4S運動の実行 踏切事故の防止

経費をつぎこみましたが、でもいくら設備の安全度が高まっても肝心の通行者がよく気をつけてもらわないことには踏切事故は絶えません。

昭和四十年全国事故発生を原因別にみますと、歩行者では大部分が左右をよく確かめないで汽車にはねられたものであり、乗り物では直前横断が七〇パーセント、運転の誤りが二〇パーセント余りで、全体の約九〇パーセント以上を占めております。

## 踏切横断には「4S運動」を

直前横断が、なぜ危険であるかは、おわかりのことと思いますが踏切ではどんなに急いでいてもいわゆる「4S運動」(止まる、

STOP・見る、SEE・確かめる、SECURE・出発、STARTの頭文字)を必ず実行してくださいそして悲惨な事故を撲滅しましょう。(加治木駅)

## 約千人が参加

### 県学校給食研究大会

県学校給食研究大会は、さる11月30日加中体育館と枕城小の二会場に、県下各地から約千名が参加して盛大に挙行されました。

この会は、過去町内の小中学校が一体となつて研究された成果を県下に公開すると同時に、当面する具体的問題を研究討議して、今後の学校給食の充実発展をはかつていこうというねらいのもとに開かれたものです。この会が本町で開かれたことはまことに有意義でした。



“熱心な討議を続ける全体会”

## 香典返しを寄付

社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

- 金額 御遺族 故人
- 三千円
- 茶碗屋 隈元百合子(母チカ)
- 四千円
- 辺川中 上猶鎮男(妻すみえ)
- 二千元
- 川原 沖 光浩(父新之助)
- 二千元
- 中郷 島中秋夫(父正市)
- 三千元
- 西反土後 恒森精二

## 町育英資金へ

- 二千元
  - 茶碗屋 坂部久雄(妻文恵)
  - 一万元
  - 御狩山 中原チカ(夫 茂)
- あと数名の方がごいますが、番号に掲載いたします。

## おわび

第一一七号広報かじき「第三回臨時町議会開かる」の記事の中で、住宅料二種(二千五百円)とあるのは(二千五百円)の間違ひでしたので、おわびして訂正いたします。